

平成29年3月定例会 福祉環境委員会委員長報告

35番 小林 治晴でございます。

私から、本市議会定例会におきまして、福祉環境委員会に付託されました議案並びに請願の審査の結果につきまして御報告申し上げます。

福祉環境委員会に付託されました16件の議案につきましては、全て原案を可決すべきものと決定した次第であります。

次に、委員会において論議され、市当局に要望いたしました主なる事項等について申し上げます。

初めに、議案第34号 長野市放課後子ども総合プラン事業の実施に関する条例について申し上げます。

本条例は、放課後子ども総合プラン事業を実施することに関し、利用料の負担等を定めることに伴い制定するものとの説明が理事者からありました。

委員からは、長野市の放課後子ども総合プランは大変有り難い制度である、様々な子育て支援施策の一つとして、充実させながら進めてほしい、長野市独自のプランを自信をもって推進すべき、との意見や、市は人口減少を食い止める、子育て支援を行っていくとしている一方で、税負担の公平性という観点から負担を求めるのは違うのではないか、有料化に伴い利用できなくなる子供が出る可能性がある、今のプランは、子供・保護者・地域のニーズに合っておらず、仕組みを考え直す必要があると思う、などの意見が出されました。

また、希望する全ての児童の受入れに関する質疑では、理事者から、子ども・子育て支援事業計画で定めた平成31年度中を目指して努力をしており、学校教室の確保ができたところから希望児童の受入れを広げているとの説明を受けて、委員からは、本件については急ぐ必要はなく、平成31年度までにきちんと準備をした上で審査すべきとして、継続審査の意見がありました。

その他、委員から放課後子ども総合プラン登録の有無に関係なく、全ての児童が一緒に遊ぶ機会を提供することについて質疑が出され、理事者からは、希望児童まで受け入れている校区から学校内を基本に週1回程度、下校時刻に支障のないような方法

での実施を想定しており、詳細は今後検討していくとの説明があり、地域や学校等と十分協議のうえ、平成30年度からの有料化と同時にモデル的にスタートするよう要望いたしました。

次に、議案第35号 長野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について申し上げます。

今回の一部改正は、保険料率等の引上げはやむを得ないとの国民健康保険運営協議会の答申に基づき、長野市国民健康保険の保険料率等を改定するものとの説明が理事者からありました。

委員からは、国民健康保険制度を維持していくために、引上げざるを得ない現実は見つめていかなければならない。今回の引上げはやむを得ないが、国保制度改革の実施も控えているので、今後の国民健康保険料の見通しについて、市民との情報共有をより一層進めていってほしいとの意見や、保険料率の引上げ幅を縮小できたのではないかと意見が出されました。

その他、委員からは市は優れた国民健康保険運営を行ってきたが、現実には保険料を払いたくても払えない人もいる。これ以上の負担は認められないとの意見が出されました。

次に、議案第36号 長野市リサイクルプラザの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について申し上げます。

現在建設中の長野市リサイクルプラザには、これまでのリサイクル活動の場としての機能を継続させるとともに、新たに市民交流、文化教養の向上を図るための施設も整備され、趣味やサークル発表会などにも活用することが可能とのことであります。

リサイクルプラザの隣には健康レクリエーションセンターもオープン予定であることから、時期によっては多くの方が訪れることにより、駐車場、施設周辺道路の混雑が懸念されるところです。

つきましては、関係部局と連携のうえ、適切な対応を検討するよう要望いたしました。

次に、こども未来部の所管事項について申し上げます。

地域での子育て支援についてであります。

市では放課後子ども総合プランの充実を図っているところですが、同プラン以外に地域の様々な場所に子供たちの居場所を作ることも重要であります。例えば、地域のスポーツクラブの活用等、地域から受入れ等の希望があった際には、積極的に支援するよう要望いたしました。

次に、請願第7号 安心して受けられる医療・介護の実現と地域の実状に応じた医療提供体制の確保を求める請願について申し上げます。

本請願の審査に当たっては、参考人の出席を求め、趣旨等の説明及び質疑を行いました。

まず、採択すべきものとして、「社会保障費に関わって財源をどうするのが必ず出てくる。財源が消費税の中から十分に充てられていない。国にこのことを求めていく道理がある。」「訪問医療とか訪問介護という体制の構築が、具現化していない中で、病床数の減が打ち出されてしまえば、懸念は自然なことではないかと考える。将来にわたって国民がどこまで負担できるか、そして、政府はどこまで負担を求めていくかをきちんと考えていくことと、負担に見合ったサービスの提供が本当にできるのか政府はきちんと見通しを示す必要があると思う。そうした上で、改革の議論は進めていくべきだと考えるので、今回の請願は国にきちんと国民の意思を示す上でも必要と考える。」との意見が出されました。

一方、不採択とすべきものとして、「社会保障費の抑制は、ある程度は財政健全化という面から見ればやむを得ない、ただ、社会保障費の削減ばかりに目を向けるようでもまずいのではないかと思う。年金頼りの高齢者や闘病が長く続く人の利用者には影響が大きい。昨年、高額療養費制度の検討が行われ、そういう利用者の観点と財政健全化の両面からバランスをとって制度の見直しが進められている。」「厚生労働省医政局から出された通知は、都道府県知事には現在稼働している病床を削減させるような権限は存在しないことを明言しており、地域の医療提供体制をしっかりと整えていく中で在宅で治療が出来る方は在宅で、そしてその結果として適切な病床数となっていくものだと解釈している。」との意見が出されました。

以上の論議を踏まえ、採決を行った結果、賛成少数で不採択とすべきものと決定い

たしました。

次に、請願第8号 医療・介護の夜勤交替制労働の改善を求める請願について申し上げます。

本請願の審査に当たっては、参考人の出席を求め、趣旨等の説明及び質疑を行いました。

まず、採択すべきものとして、「三六協定などで実際には現行法を守れない仕組みになっているから今回この請願が出されている。特に医療や介護の現場で働く皆さんは、一般の労働者以上に労働環境を良くする必要があると思うので、是非請願を採択してもらいたい。」「請願者の実態は理解できるし、こうした環境整備は大変重要だと思う。特に介護は施設を造っても介護士が集まらない、高齢化社会を迎えて対応できない状況にある。それらを育成することができているかと言うとそれもなかなか及んでいない。こういうことを見れば、市民からの請願に対して議会として国に申し出ることが非常に重要だと思う。」との意見が出されました。

一方、不採択とすべきものとして、「請願の趣旨はよく分かる。ただ、医療機関ごとに異なっている現実があるだろうと思う。労働基準監督署でこういう職場の労働環境の指導をしていると解釈している。国からの指導があるとすればその対応でしばらく現状維持的にやっていくのが妥当と思う。」「医療勤務環境改善支援センターをしっかり活用していただいて、個々にきめ細かくそれぞれの課題を解決して、現行法を守った雇用環境、労働環境を作っていく、その努力がまず第一歩だと思う。その上で足りないところがあれば法的にこういうルールを新しく決めたらどうかと次の段階にいくことはあるかと思う。」との意見が出されました。

以上の論議を踏まえ、採決を行った結果、賛成少数で不採択とすべきものと決定いたしました。

最後に、請願第9号 障害児者の生きる基盤となる『くらしの場』の早急な整備を求める意見書の提出を求める請願について申し上げます。

本請願の審査に当たっては、参考人の出席を求め、趣旨等の説明及び質疑を行いました。

まず、採択すべきものとして、「介護している両親が高齢となったときの家族状況

が変化していく、その時にどうするんだろうという個々のニーズ、地域生活支援拠点の整備が、財源不足だったり、人材不足だったりして課題が非常に大きいことが長野市の現状。そういう部分のことを考えたときに、今回の請願は国に上げるべき問題だと考える。」「障害があっても元気に地域で暮らしていける、社会の一員としての責任を果たしている人たちに改めて福祉政策を強めていくということでこの請願は採択して、市議会としても国に更に前進させるために請願を行うことが大事だと思う。」との意見が出されました。

一方、不採択とすべきものとして、「これから地域福祉を更に進めていく中では、この障害者福祉ももちろんこの中にあるし、そういう皆さんを地域の真ん中においていくという地域の議論もだいぶ出てきていると認識している。」「関係者等に話を聞いてみたら、家族も含めて暮らしの場は確保していきたい、してもらいたいという要望は確かにあるけれど、現実的には、今国に対して整備してほしいという段階ではない。それよりも大事なものは、長野市として行政が障害児、障害者にこと細かく対応していただくことが大事なんだと聞いている。したがって、今回の請願は、国に意見書として長野市が提出するよりも、地道に長野市としての施策展開をしていただきたいと思っている。」との意見が出されました。

以上の論議を踏まえ、採決を行った結果、賛成少数で不採択とすべきものと決定いたしました。

以上で報告を終わります。